

学生が地域の新しい風となる

学生地域活動支援事業

*平成28年度は事業内容を一部更改して実施。

(平成26~27年度)

ねらい

- 学生の地域活動の促進（学生が主体的に石見地域の活動団体等と効果的に関わる機会の創出）
- 地域の実情を理解し地域課題を解決しようとする人材の育成（学生のしまねへの定住促進）
- 地域の活性化、地域活動団体等の活動内容の充実（若者、外部人材の視点による気づき等）

モデル

- 学生自らが自主的・主体的に企画・提案する、石見地域の課題解決につながるアイデアや特色を活かした活動、高等教育機関での学びを活かした活動を募集、その活動を支援

※アイデアのみではなく実施に向けて具体性のあるプランであることが必須

〔H26~27年度実施内容〕

活動例

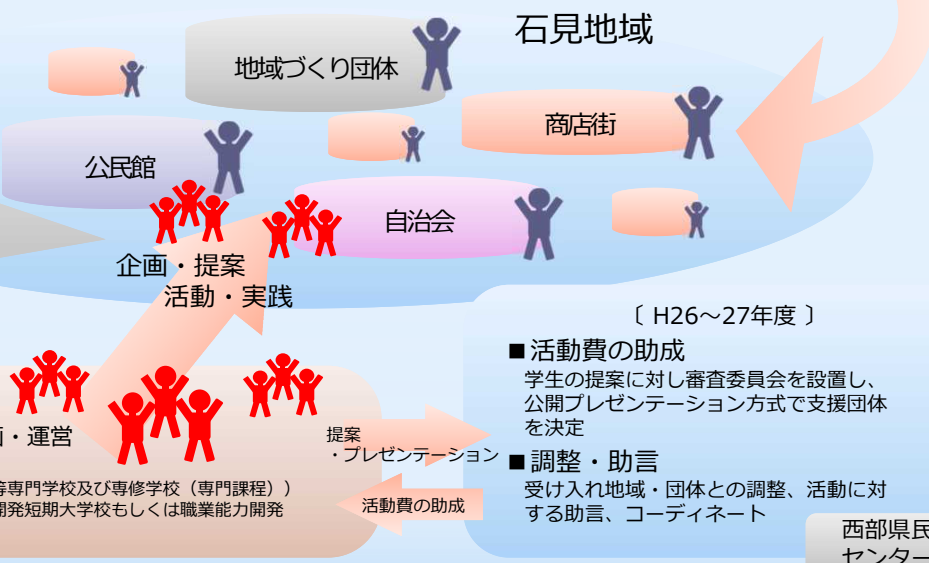
- 里山の農道保全、鳥獣害対策等の環境保全活動
- 地域づくり計画策定や古民家再生等の生活環境改善活動
- 観光振興や特産品開発等の産業振興活動
- 生活文化の伝承・保全等

学生団体

- 5人以上の学生が組織する団体
- 学生が中心となって自主的に企画・運営

学生の定義

高等教育機関（学校教育法による大学、高等専門学校及び専修学校（専門課程））並びに職業能力開発促進法による職業能力開発短期大学校もしくは職業能力開発大学校に在籍する者



〔H26~27年度〕

活動費の助成

学生の提案に対し審査委員会を設置し、公開プレゼンテーション方式で支援団体を決定

調整・助言

受け入れ地域・団体との調整、活動に対する助言、コーディネート

西部県民センター

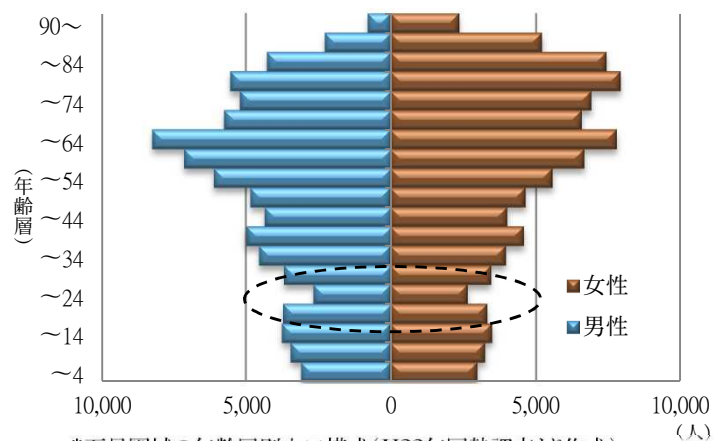
問題意識

地域運営を行っていく上で、担い手不足や組織の硬直化は石見圏域の多くの地域で共通する課題です。特に10歳代後半~20歳代前半の世代が就職や進学をきっかけに地域外へ他出するという傾向がみられ、この世代が地域で活躍すること、人材の育成、それを期待する声が地域やまちづくり団体等で高まっています。

一方、その世代が多く含まれる学生から、学びを活かし地域で活動したい、地域づくり等に関わりたいといった声も耳にします。

そこで、学生が主体的に石見圏域をフィールドにした地域づくりや活動団体と関わる機会を創出し、地域の実情を理解し、地域課題を解決しようとする人材の育成、地域づくり団体等の活動内容の充実を目的に「学生地域活動支援事業」を実施しました。

具体的には、学生を対象に石見圏域の課題解決につながるアイデアや特色を活かした活動、自主的・主体的で具体性のあるプランを募集しました。学生から提案のあったプランについて、活動の方向性、実現可能性や効果といった視点のもと公開プレゼンテーション形式によって採択し、活動を支援しました。



*石見圏域の年齢層別人口構成(H22年国勢調査より作成)。(人)



*公開プレゼンテーションによる審査の様子。

*平成27年度支援活動

沢谷♥プロジェクト - 魅力を形に、沢谷を元気に - (島根大学 島大Spirits!)

美郷町沢谷地域をフィールドに活動。地域を巡り、地域の方に取材調査。
みつけた魅力・知恵をとりまとめ、伝承本づくりへ

活動した
メンバーより

そもそも地域活性化とは何だろうと考えました。外から人が来るなどということが言われるかもしれませんが、まずそこに住んでいる地元の人が元気になる、その地域が元気になることが一番大事なところではないかと私たちは考えました。そのためには沢谷という地域の魅力を地域の人が見つかる、発見する、気付くことが大事で、それがあるから愛着や誇りを持って地域の人が元気になる、活動が活発になり、それが元気につながると考えました。

そういう魅力を私たちが取材をすることでみだし、それを冊子にまとめました。

この活動、魅力を冊子にすることで地元の人が地域の魅力に気付き、愛着や誇りを持ち、それによって積極的に活動ができるようになったり、新しいアイデアが生まれたり、昔の話やおばあちゃんの知恵などを引き継ぐことでそれを活用する。そんなことを期待しています。

*活動報告会(平成27年12月18日)の報告より。



*沢谷地域を訪れ、地域の方への取材、インタビューを通じて次世代に伝承されず忘れ去られつつある魅力を大学生の感性で聞き取り、記録し製本(写真右)。今後の活動・取り組みの発展にも期待。

活動の一覧

この一覧は平成27年度に支援した活動です。

平成26年度は全6団体の活動を支援しています。

計画時の内容のため、実際の活動内容とは若干異なる場合があります。

活動名	提案団体名(学校名)	活動地域	活動計画の概要
沢谷♥プロジェクト - 魅力を形に、沢谷を元気に -	島大Spirits! (島根大学)	美郷町 沢谷地区	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統文化や知恵などに関する伝承本を作成 伝承本作成による地域の活性化、次世代への文化伝承 地区内外へ情報発信、地区の魅力のPR
集え若者達よ、神楽の風を吹かせよう ~学生神楽祭~	島根県立大学 石見神楽舞濱社中 (島根県立大学)	浜田市	<ul style="list-style-type: none"> 石見地域の高校生を共同で神楽公演を実施 神楽を通じて若者同士、地域住民との交流を図る 伝統文化、観光資源である神楽の魅力の発信
Ino-Agriculture-Activate プロジェクト	井野の農業を盛り上げ隊 (島根県立大学)	浜田市三隅町 井野地区	<ul style="list-style-type: none"> 地区産品の直売所のない井野地域の農産物の販売 消費者ニーズの聞き取り、生産者へのフィードバック 「地産都消」による地区産品のPR
浜田市内防犯マップ作製、寄贈事業	島根県立大学防犯サークルSCOT (島根県立大学)	浜田市	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防犯マップの作成・配布 防犯マップを活用したワークショップの実施 地域の安全の確保、防犯意識の向上
本町魅力発信プロジェクト	本町広報部 (島根県立大学)	江津市 本町地区	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源マップ作成ツアー、ワークショップを実施 住民・学生向けツアーを行いマップの活用効果を実証 地域資源の掘り起こしと情報発信、地域交流

活動報告会

「学生の石見地域活動報告会」では、学生の各活動グループから、活動の経過状況、実際に活動を行った成果や課題が報告されました。

この活動で生まれた地域との関係を大切に、地域の魅力を活かした企画の実現に向けて取り組みを継続していきたいといった報告のほか、想定していた地域の課題・ニーズと実際に地域で活動して感じる実態にギャップがあり、計画した活動の実施に至らなかったという報告もありました。

また、この報告会には、学生を受け入れた地域の関係者の参加も多数あり、学生が頑張っていることを住民が見ることも活力となるといった声も聞かれるとともに、一過性にならず、継続した活動になるよう望む声もありました。

*平成26年12月、平成27年12月に開催。

まとめ

志ある学生が提案・実施した地域の課題解決に向けた取り組み・試行錯誤は、地域課題の解決、地域づくり活動の促進といった直接的な効果だけでなく、地域の実情を理解しながら、地域づくりに取り組む若い世代の育成や、地域とのつながり・ネットワークづくりに対しても積極的な効果があったように考えられます。

学生を受け入れた各地域では、新たにパートナーとなった学生と共に、顔が見える関係性のもと活動する、そんな地域づくりの姿もみられました。

こうした取り組みが、一過性のものとならず、継続していくためにも、学生・地域が相互の想いや実情を理解し、お互いに有益な関係性を築いていくことが活動の出発点になると言えるでしょう。

